

古活字版・嵯峨本

古活字版とは、一般に文禄期から近世初期（慶安頃）まで出版された活字本である。奈良朝から桃山時代に至る印刷は、一枚の版木に絵や文字を彫って刷る整版であったが、文禄の役以後朝鮮より新しい活字の印刷技術が導入され、その影響によりわが国でも活字印刷が起ってきたのである。国内需要が、百部内外の僅かな小部数であったため、組み替え可能な活字印刷が、時間的にも、経済的にも受入れられたゆえんであろう。この流れの中で、慶長年間（1596-1615）後半期に本阿弥光悦らが京都嵯峨の地で出版した流麗な書物の一群がある。出版地に因んで嵯峨本と呼ぶが、光悦自らが版下を書いたものを「光悦本」といい、角倉素庵が出版に関与したといわれることにより「角倉本」とも称される。雲母摺料紙に挿絵入り平仮名交り本という画期的な出版であった。しかし、これら活字版は、寛永期に入り、学問の普及および出版の隆盛により、大量需要に対応できる整版印刷へとふたたび流れをかえていくのである。

- 1 伊勢物語 (黒川文庫)  
古活字版二冊(上・下) 美濃判 慶長十四年(1609)板 絵入 角倉本  
(表紙墨書) 印記 「黒川真頼蔵書」 「黒川真道蔵書」
- 2 撰集抄 (黒川文庫)  
古活字版二冊(九巻) 美濃判 九行書き 無刊記 角倉本(表紙朱書)  
印記 「小汀氏蔵書」(小汀利得) 「黒川真頼蔵書」 丸印「黒川真頼」  
「黒川真道蔵書」 「月明荘」(反町茂雄)  
\* 「増補 古活字版の研究」下巻 図版282と同種
- 3 光悦うたひ本 (別置)  
古活字版複製三帖 半紙判 列帖装 東京 日本古典文学刊行会 昭和四十七年  
刊 付 別冊解題 原本 東洋文庫所蔵 慶長期刊  
内容は実盛・ゆや・狸々の各謡
- 4 宇津保物語 (黒川文庫)  
古活字版二冊(上・下) 美濃判 十一行十九字詰 無刊記 「慶長期刊」  
印記 「温故堂文庫」(塙忠韶) 「黒川真頼蔵書」 「黒川真道蔵書」  
「黒川真前蔵書」  
\* 「増補 古活字版の研究」上巻511頁参照。下巻 図版349と同種

- 5 狭衣 (常磐松文庫)  
古活字版八冊(四巻 各上・下) 美濃判 十二行書き 無刊記 「元和期刊」  
原題簽 巻二下・巻三(上・下)のみ存す 印記なし  
\* 「増補 古活字版の研究」中巻888頁参照。下巻 図版362と同種
- 6 狭衣 (黒川文庫)  
古活字版八冊(四巻 各上・下) 美濃判 十二行書き 無刊記 「元和期刊」  
原丹表紙・原題簽あり 印記 「黒川真頼蔵書」 丸印「黒川真頼」 「黒川真道蔵書」  
\* 「増補 古活字版の研究」中巻888頁参照。下巻 図版363と同種
- 7 狭衣 (黒川文庫)  
古活字版四冊(四巻 各上・下合冊) 美濃判 十二行書き 無刊記 「元和期刊」  
文化十年(1813)源道別校合 墨・朱・青 お・へ・糸・ぬ等手書にて改ざんあり。  
巻三之上 二十六～二十七丁手写 印記 「新宮城書藏」(水野忠央)  
「朝田家蔵書」 「岸本家蔵書」 「平乃由豆流」(岸本由豆流) 「月明荘」(反町茂雄) 「鍾礼岳文庫」 「黒川真道蔵書」  
\* 「増補 古活字版の研究」中巻888頁参照。下巻 図版363と同種
- 8 太平記 (山岸文庫)  
古活字版二十一冊(目録・四十巻) 美濃判 十二行書き 刊記「慶長十年乙巳(1605)九月上旬日」  
全冊に合点・朱筆書入れ 一部墨筆書入れ 印記 「湖東/最明寺/山田」 「山岸文庫」(山岸徳平) 箱入
- 9 きのはけふの物語 (山岸文庫)  
古活字版一冊 美濃判 十一行書き 無刊記 巻末「吉沢本(吉沢義則)昭和三十年二月中院 岸廼舎」  
印記 「山岸文庫」(山岸徳平) 「平出氏書室記」(平出鏗二郎) 平出鏗痴旧蔵本 六十一話  
短編の笑話集。古活字版十行本系に近い。
- 10 ちくぶしまのほんじ (別置)  
古活字版複製一冊 半紙判 東京 日本古典文学刊行会 昭和四十八年刊  
付 別冊解題 原本 横山重氏蔵 古活字丹緑本 栗田元次氏、小汀利得氏の旧蔵本で刊本では他に伝本のない孤本である。
- 11 枕草子 (黒川文庫)  
古活字版五冊 美濃判 十三行書き 無刊記 「寛永期刊」 原丹表紙 第一巻のみ朱筆書入れ  
印記 「黒川真頼蔵書」 「黒川真道蔵書」 「黒川真前蔵書」 「青木印」(青木信虎)  
\* 「増補 古活字版の研究」中巻891頁参照。下巻 図版383と同種

12 徒然草 (黒川文庫)  
 古活字版二冊(上・下) 美濃判 十二行書き 無刊記 [元和期刊] 上巻の  
 み朱書入れ 印記 「黒川真頼蔵書」 「黒川真道蔵書」  
 \* 「増補 古活字版の研究」中巻893頁参照。

13 論語 (常磐松文庫)  
 古活字版二冊(十巻) 美濃判 七行書き 無注 無刊記 天文二年(1533)  
 清原宣賢序 印記 「碩水蔵書」(楠本碩水) 「三井家鑒蔵」  
 楠本碩水略伝別紙一枚あり  
 \* 「増補 古活字版の研究」上巻87頁、110頁参照。

14 節用集 覆刻易林本 (常磐松文庫)  
 古活字版一冊(上巻) 美濃判 七行十四字詰 無刊記 [慶長期刊]  
 識語「慶長十五庚戌(1610) 誓願寺長翁」 印記 [三袖書屋]  
 「一馬」(川瀬一馬)  
 \* 「増訂 古辞書の研究」 819頁参照。

15 棠陰比事 (常磐松文庫)  
 桂万米撰 居延田校  
 朝鮮古活字版一冊(三巻) 大形本 十行書き 無刊記 印記 「冷泉府書」  
 (藤原惺窩) 「鏑斎居士」 「富岡百練」(富岡鉄斎) 「小汀氏蔵書」 「小汀  
 文庫」(小汀利得) ほか  
 宋の桂万米の著した裁判小説集。

参考資料

- 「増補 古活字版の研究」(上・中・下巻) 川瀬一馬著 昭和四十二年刊
- 「増訂 古辞書の研究」 川瀬一馬著 雄松堂出版 昭和六十一年刊

蔵書印



黒川真頼蔵書印



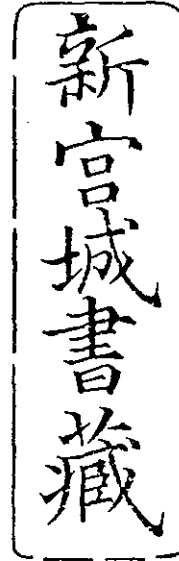
黒川真道蔵書印



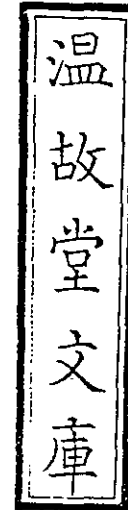
黒川真前蔵書印



山岸徳平蔵書印



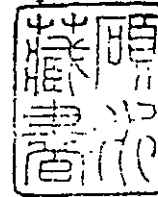
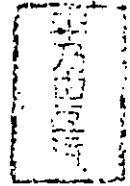
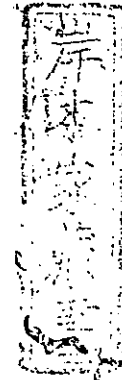
水野忠央蔵書印



崎忠韶蔵書印



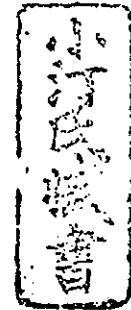
岸本由豆流蔵書印



楠本碩水蔵書印



青木信虎蔵書印



小汀利得蔵書印



平出鏗二郎蔵書印



富岡鉄斎蔵書印



藤原惺窩蔵書印